

採択の理由（大野町：中学校）

種目	発行者	理 由
国 語	光 村	書名＜国語＞
		<p>「単元を貫く言語活動」を通じた学習を行うための手順が、単元の最初や終わりに具体的に記されており、学習の見通しや目的意識をもって学習を進められる構成になっている。「C読むこと」領域においても、「単元を貫く言語活動」と単位時間の学習活動を関連付け、目的をもって読むことができるよう、よく配慮されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「日常生活や社会生活に生きる国語の能力」を身に付けるために、学習のねらいに即した必然性のある言語活動が設定されている。また、既習事項を活用して課題が解決できるよう配慮されている。</p>
書 写	東 書	書名＜新しい書写＞
		<p>生徒が自ら学習を進めるために、学習の仕方が示され、書写学習を系統立てた編集の工夫がある。基礎的・基本的な知識・技能について、詳細で分かりやすい説明や図が豊富で、補充的な学習及び発展的な学習や活動につながる内容である。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「主体的な課題解決の過程」を実現するために、点画を擬音語で分かりやすく示すことで自分で練習できるようにしたり、紙を折って手本と比べる頁を設定したりして、生徒自身が課題解決できる力を培うよう配慮されている。</p>
社会 地理的 分野	東 書	書名＜新しい社会 地理＞
		<p>各単元の最初に、小学校での学習事項を用語や写真で振り返る活動を設け、小中の学習がスムーズに接続できるように配慮されている。また、写真、グラフ、地図などの資料を効果的に配置し、資料を読み取る視点を適切に示すことで、一つの事象を多面的・多角的に考察する力が身に付くよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「今日的な課題に対する授業実践の推進」を実現するために、豊富な写真やグラフに加え、インタビュー形式の資料もあり、学習意欲だけでなく社会への関心も喚起するよう配慮されている。また、実際の都市を例示し、地域の将来像を考える視点を示すなど、身近な地域の課題点について考えることができるよう配慮されている。</p>

種目	発行者	理 由
社会 歴史的 分野	東 書	書名<新しい社会 歴史>
		<p>小学校の学習と関連付けた内容や年表の配置に工夫があり、時代の特色が理解しやすく、歴史事象のつながりが分かりやすい構成となっている。また、歴史用語の解説に配慮されており、主体的な学習を行う際、とても活用しやすい構成となっている。地域教材に配慮がなされ、岐阜県に關係する資料や記述が多いのが特徴である。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「子どもの中の問いが連続させる展開」を実現するために、章のはじめに年表形式で前章の学習内容のまとめやこれから学習する歴史上の出来事の流れが分かりやすく掲載されている。また、小学校で学習した内容を時代に沿って載せ、既習内容を基にしながら新しい章の学習内容が見通せるよう配慮されている。</p>
社会 公民的 分野	東 書	書名<新しい社会 公民>
		<p>我が国や世界が抱える諸課題について考察し、解決の方法を考える力を育成するために、多様な言語活動がなされるよう構成され、多面的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けられるよう配慮されている。急速に変化する現代社会に対応し、より良い国家や社会を構築する力を育成するために、主体的な社会参画への意識や態度を養えるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「今日的な課題に対する授業実践の推進」を実現するために、今日的な課題について身近な事例を取り上げたり、資料の着眼点や考えるポイントを示したりして、主体的に学習することができるよう配慮されている。</p>
社会 地 図	帝 国	書名<中学校社会科地図>
		<p>本格的な地図帳を初めて手にする中学生を考慮し、鳥瞰図や大観図、衛星画像を多用して、地形や自然などの特色が大観できるよう工夫されている。また、比較しやすいように縮尺を統一した地図や資料図を多数用意したり、他分野でも活用できるように関連資料を掲載したりするなどの配慮がなされている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「歴史や公民の授業において、常に地図帳を手元に置いて地図帳を活用する」ために、主な歴史地名や事項等を地図中に掲載して、歴史的分野と関連する事柄を示したり、各地方共通で「防災」「文化」「自然環境」の視点から資料が掲載したりして、課題解決に向けた自分の考えの根拠として、地形や距離に着目したり、周辺的环境から判断したりすることができるよう配慮されている。</p>

種目	発行者	理由
数 学	大 日 本	書名<数学の世界>
		<p>生徒も教師も学習の見通しがもてるよう、見開きを基本とし、1単位時間で学習する内容が一目で分かる編集になっている。説明し合う活動を位置付け、確かな思考力・表現力を育成するように構成されている。また、補充や確認問題だけでなくプラスワン問題もあり、難しい問題にも取り組めるようになっており、習熟度に応じた発展的な学習ができるよう、配慮されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「生徒が主体的・対話的で深い学びにつながる数学的活動を仕組む」ために、単元の構成が生徒の思考の流れに沿って、学ぶ必然が生まれるよう配慮されている。また、説明し合う活動や互いの考えを紹介し合う活動を取り入れ、生徒が興味・関心をもって伝え合えるよう配慮されている。</p>
理 科	東 書	書名<新しい科学>
		<p>全国学力・学習状況調査で示された活用の4つの視点について「考察しよう」「話す」等のマークで対応し、ねらいをもって学習できるよう工夫されている。さらに問題解決の過程が明確に示してあり、誰もが考えをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「理科を学ぶ意義や有用性を実感できる生徒を育成する」ために、身のまわりで見られる様々な現象から必然性のある課題を取り上げ、問題解決的な展開となるよう配慮されている。また、生徒に身近な活動や素材、結果が分かりやすく扱いやすいものを掲載し、知的好奇心や学習意欲の喚起につながるよう配慮されている。</p>
音 楽 一 般	教 芸	書名<中学生の音楽>
		<p>表現及び鑑賞に関する能力を育成するために、学習内容と各教材との関係や3つの分野を横断した関連が分かりやすく示され、系統的・発展的に学習できるよう配慮されている。〔共通事項〕を支えとし、学習目標とそれに迫る学習活動が具体的に示し、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう配慮されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「言語と表現を用いて、『思いや意図と願う表現』や『知覚・感受したこと』を伝え合う交流を進めるために、歌唱・創作・鑑賞の学習において、ワークシートや吹き出しがあり、思いを言語にする段階が丁寧に位置付けられている。</p>

種目	発行者	理由
音楽 器楽合奏	教 芸	<p>書名＜中学生の器楽＞</p> <p>主体的に学習に取り組むために、各楽器の音色に着目した名曲の鑑賞が冒頭に位置付けられている。〔共通事項〕を窓口として楽器の特徴を感じ取り理解しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けていくことができるよう、系統的・発展的に教材が配列されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、『音楽を形づくっている要素』を適切に指導する」ために、それぞれの楽器の各部の名称や構造、楽器を持つ姿勢と構え方、奏法の解説に加え、見せたい部分を焦点化した写真や図が使用されており、より視覚的に捉えることができるよう配慮されている。</p>
美術	日 文	<p>書名＜美術＞</p> <p>どの学年においても、A表現（１）（３）及び（２）（３）の題材がバランスよく構成されている。生徒がねらいを意識しながら学習に取り組めるよう、題材ごとに「学びのねらい」を観点別にマークで示されている。教科書がA4判より幅が広くつくられているため、文字や写真の配置や大きさ、余白が適切である。さらに鑑賞題材では、和紙を使って紙質を変えたものも構成され、見せ方が工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「生徒が学習に必然を感じるような題材設定」をしていくために、題材の文頭には「日常生活・普段・身近な」という言葉が使用され、生徒が自分たちの生活とのかかわりをもつことができるよう配慮されている。</p>
保健体育	東 書	<p>書名＜新しい保健体育＞</p> <p>単位時間の導入には、「今日の学習」と「やってみよう」が配置されており、生徒が保健学習への興味・関心や意欲を高めることができるようになっている。また、「考えてみよう」では、それまでに習得した心身の機能や健康な生活についての知識や教科書の図表を活用して、日常の場面を取り上げてディスカッションを仕組むよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「自分の生活を振り返りながら保健分野の学習内容が大切なものであることを実感できるようにする」ために、地域の保健・医療や社会の取組について、自分の健康を守るための保健・医療機関の利用や各地域での取組を紹介しながら、健康について考えることができるよう配慮されている。</p>

種目	発行者	理 由
技術・家庭 技術分野	東書	書名<新しい技術・家庭 技術分野>
		<p>実践的・体験的な学習活動が重視され、「問題の発見」「設計」「製作」「評価」のサイクルが示され、実習を通して、PDCAの問題解決的な学習の流れになっている。課題解決につながるヒントや写真、コメントが多く示されており、生徒の試行錯誤や主体的な学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「技術の見方・考え方を常に働かせながら学ぶことができるようにする」ために、ガイダンスや章末において、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等から技術を評価し活用することの大切さを示す資料があり、それらに着目して技術を最適化することができるよう配慮されている。</p>
技術・家庭 家庭分野	東書	書名<新しい技術・家庭 家庭分野>
		<p>基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を目指し、各編の導入で小学校の学習内容とのつながりを明確にしたり、必要な編において「基礎技能」ページを設け、写真等を用いて分かりやすく解説したりして、必要に応じてそこに立ち返り、繰り返しや補足的な学習が進められるよう工夫されている。また、失敗例や比較実験したものを写真等で示し、生活におけるトラブルを科学的に分析し、改善できるよう配慮されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、『生活の課題と実践』と小学校家庭科で大切にされてきた過程実践との相違点を明確にして指導にあたる」ために、はじめに「生活の課題と実践の進め方」が示され、実践例では「課題の発見」から「計画」「実践」「振り返り、見直し」「改善」「次の課題」のサイクルが例示されているなど、学習が生活に結びつくよう配慮されている。</p>
英語	東書	書名<NEW HORIZON>
		<p>単元ごとに目標が具体的に示されていることで、各パートの役割がより明確になり、4技能を活用し、繰り返し言語活動を行うことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、終末の言語活動で活用できるように工夫されている。また、「学び方コーナー」や「まとめと練習」が位置付き、家庭でも進んで学習できるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の指導に求められている、「小中連携を基にして、小学校で培われた素地を生かし、前学年、前単元の学習内容を意図的に使用できるような言語活動を設定していく」ために、小学校外国語活動で慣れ親しんだ表現を聞いたり話したりする入門期の活動が十分設定されているとともに、3年間を通して系統的、発展的に言語活動の指導ができるよう配慮されている。</p>